

カンガルーケアについて

出産時の早期接触(カンガルーケア)は、当初コロンビアで保育器不足を補う未熟児の代替医療として始まりましたが、本邦でも**母児の絆の早期形成**と、**母乳育児促進**の効用を期待できることから、多くの施設で取り入れられています。

しかし、赤ちゃんは体温調節が未熟で、呼吸状態も安定しないことがあるため、**低体温**を引き金に**呼吸停止**にまで至る可能性が指摘されており、実際に**死亡例**も報告されています。

当院では、ご希望のお母様にカンガルーケア(ケア)を行っていただきますが、それに伴う危険を最小限にするために以下の注意事項を確認し、最後に署名をお願いします。また、時間的には30分を目途に行いますが、ご希望と母児の状況により早めに切り上げたり、少し長く行うことも可能です。

カンガルーケア注意事項

- ①赤ちゃんは胸のうでママのぬくもりを感じています。ケア中は、ご自身も**赤ちゃんの呼吸と体温**を感じてあげてください。特に乳房が大きい方は、赤ちゃんがうつ伏せで息ができない状態になっていないか注意してください。
- ②スタッフはケア中の赤ちゃんを**常時監視しません**。少しでも不安に思うことがあればすぐに**スタッフに知らせてください**
- ③お部屋の温度は高め(25℃程度)にしますが、体感で低いと感じるようならお知らせください

カンガルーケア同意書

私はカンガルーケアの利点とともに危険を十分理解したうえで、ケアの施行を希望します

氏名 _____